

50年のノウハウを活かすフィルム延伸技術



株式会社市金工業社

(高分子化学工業用機械(フィルム製造用機械等)の製造販売)

機械・装置

事業概要と躍進の契機

ハイテク用部品の機械装置メーカー

創業時は、染色整理仕上げ機械メーカーであったが、そのノウハウを活かし繊維機械から産業機械メーカーに転身。現在では、電池セパレータ製造装置、液晶用偏向膜

Turning Points

製造装置など高機能性複合材料といったハイテク用部品の製造装置を手がける。

会社の強み・主力商品など

繊維機械製造のノウハウを活かす

繊維産業装置を手がけていた会社の経験が強み。繊維の仕上げのための、熱風、蒸気、水の働きを応用し、熱処理による機械的な引っ張りの技術、風合いの出し方をうまく組み合わせ、フィルムの寸法や厚みを高精度に均一化する技術を確立した。特に同時二軸延伸連続試験

Strength

装置を開発、製品試作用に自社内で設置し、顧客の製品開発に供している。

小型装置の開発が専門であるが、装置設計段階から、顧客と共同開発を行い、細かな顧客の要望に答えるようにしているのが同社の強みである。

今後の事業展開

他業種も含めた幅広い事業展開

化学メーカーからの引合が来ており、今後は、他業種も

Vision

含めて幅広く事業を行っていきたい。

企業データ

所在地：〒525-0027 滋賀県草津市野村4-3-10

TEL：077-565-2212 FAX：077-563-1221

URL：<http://www.ichikin.co.jp>

設立：1954年（昭和29年）

代表者：代表取締役社長 川口 裕史

従業員：85名

資本金：1億円

